

人民大学異文化交流感想

L164026 梶原瑛人

私が今回の交流活動で一番印象に残ったのは二日目に中国での農村の様子を確認するために訪れた〇底下村だった。私がこの企画に参加した大きな理由として、発展した臨海部ではなく山あいの農村部の様子を知りたかったためだ。

当日は晴天で、北京では光化学スモッグで霞がかって見えた空もきれいに見えた。一方で村へ至る道の途中にあった小川はかなり汚れていて、やはり中国なんだなと私は感じた。ただ、村の中に入ると道端で豆を煎りそれをそのまま売っていたり、強い匂いのする昼食を外で作っていた時には日本との様々なカルチャーギャップを感じた。

とはいえ、その他に日本の農村部の観光地と大きな違いは感じなかった。私は北京の街中では光化学スモッグや溢れているごみなどには驚いた。そのぶん、この村は楽しく見て回ることができた。村長の建物が一番高く配置されていて、その周りにほかの建物が次第に低く配置されている村の構造や、一度水害に会いその後一組の夫婦によって再建された歴史など、私にはとても興味深いものだった。

そして、山奥にあったこの村も第二次世界大戦では日本軍によって破壊されたようだった。現地の人もいまだに恨みを残していると聞いて、どうにも悲しくなった。日本人以外の立場を知れてとてもよかったと思う。

